

オオゴマダラ通信

第67号

2021（令和3）年7月1日発行
編集発行：首里城下にチョウを飛ばそう会
〒903-0814 那覇市首里崎山町4-26-2
TEL & FAX 098-887-3723
E-mail : yasuhiko9125@ark.ocn.ne.jp

高良理事長から50万円賜わる（2面）、 “オオゴマダラ” が園にやってきた（3面）、
“縁の下の力持ち” に多謝！（4面） 御礼・お願い・ご報告（4面）

神秘的な輝きに感銘

那覇市都市みらい部公園管理課長 前原 信博

「首里城下にチョウを飛ばそう会」におかれましては、平成13年7月の結成以来、大城安弘会長を中心とする会員皆さまの日々の絶え間ない活動に、心より感謝と敬意を表します。



那覇市立「ちょうちょガーデン」とガーデン管理担当者（2021年5月）

私が公園管理課に配属され、初めてオオゴマダラの金色に輝く蛹を観た時の鮮烈な印象は今でも鮮やかに記憶しております。また、オオゴマダラの食草であるホウライカガミ自体に毒素があり、その毒を食べているにも関わらず、黄金の蛹を経て、我が国最大のチョウに成るその雄姿に、神秘的な感覚を覚えました。

そのオオゴマダラは、風格を身にまとい、「那覇市の蝶」・「沖縄県の蝶」と成る可くして成ったと思われませんが、それは皆さまの諸活動により実現したものと拝察致し、重ね重ね皆さまのご尽力に敬意を表します。

さて、当市におきましては、今年度から第5次那覇市総合計画がスタートしました。まちづくりの将来像として掲げた「なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA ～みんなでつなごう市民力～」の実現に向け、努力して参ります。

このキャッチフレーズにぴったりのチョウを通した貴会の取り組みにより、一人ひとりの市民が自然や環境について学び、育てる意識を持つきっかけとなり、心豊かな「市民力」に繋がることを念願し、結びと致します。

「编者コメント」前原課長はじめ公園管理課の皆様には、本会創立以来多大なご教示・ご協力を賜っております。恒例となっています「ちょうちよ祭り in 那覇」や「市蝶制定記念イベント」等は本会と那覇市との共催で実施致しております。また、「ちょうちよガーデン」の管理運営は本会会員が担っております。これからも、御市のご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

高良理事長から50万円賜わる

先日、医療法人陽心会高良 健理事長様から50万円の大金を賜りましたことをご報告致します。高良理事長様からは、これまでに幾度も大金を頂戴していますことは、その都度、ご報告申し上げます。茲に改めまして、高良理事長様に厚く御礼申し上げます。



高良理事長様から50万円の大金を賜わる

本会が追求める活動が何の差し障りもなく実現できていますのは高良理事長様のご教示・ご支援の賜であることをご理解いただき、感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。



リュウキュウアサギマダラ蛹ツリー



同左 翡翠の宝石？



同左 蛹化前の前蛹と蛹

“オオゴマダラ” が園にやってきた

幼保連携型認定こども園美ら夢園長 崎山 泰弘

春、認定こども園美ら夢の園庭にオオゴマダラがやって来るようになりました。毎朝、園庭のホウライカガミの葉をひっくり返して、卵の有無を確認していましたが、4月16日、思いも掛けない大きさに育った幼虫を10頭も見つけたのです。



「黄金の蛹」に見入る子どもたち



黒い幼虫がどうして金色に？ 不思議だよね～



待ちに待った“放蝶”



空高く舞うオオゴマダラにバイバイ。また、来てね

子ども達も興味津々で見つめています。夕方、少し涼しくなると活発に動いて葉を食べ、枝から枝へと闊歩する様子も観察出来ました。幼虫発見から10日目、葉にぶら下がり、あっという間に金色の蛹に！！黒い幼虫がどうして金色になるのか？ 不思議に思う子ども達！ ビデオで撮影し、10分間の変身の様子を興奮しながら鑑賞しました。自然の営みには唯々脱帽。

3年前に「首里城下にチョウを翔ばそう会」の食草植栽に参加し、貴重なホウライカガミの苗を頂き、大切に育ててきました。その草に、今回、オオゴマダラが飛来したのです。これからも、子ども達と一緒に「命」を育み、それに触れ、体験することで「命」の大切さを学び、学ばせたいと考えています。それから、自然の不可思議にも向き合っていきたいと思えます。

「编者コメント」 職員と子どもたちが一体となって、「命どう宝」の体験やそれを育む活動はとても大切な教育だと思います。更に、本県の自然の素晴らしさや保全についても学び、教えることにご期待致します。子どもたちの「不思議だねえ～」という「科学する心」を存分に伸ばし、「将来の科学者」の卵を養育されんことを、切に願う次第です。

“縁の下の力持ち”に多謝！

私たちウチナンチュの多くは金満家では無いと思います。それに、政治的な無配慮により「セリグマンの犬」ではありませんが、多くの苦難や重圧に押しつけられています。それでも、ウチナンチュは金は無くとも心豊かに、ウチナンチュとしての矜持を胸に人間本来の立ち位置で日々を暮らしています。それは、県民性として根付いている「ゆいま～る精神」に起因しているものと思料致します。

さて、本会には本会を下支えして下さる「縁の下の力持ち」で、掛け替えのない会員がおられます。



「会報・オオゴマダラ通信」や「総会資料」等を点検し、発送して下さる会員の皆様
「総会資料」発送準備にご協力いただいた皆様。首里城公園・会議室、2021・5・16日



氏名・住所に間違いは無いか 中身のチェックはOK? 直近3年間の会費納入状況は?

本会活動に不可欠な諸事案や雑務を担って下さる、所謂、「ゆいま～る」「ボランティア精神」が生きているからこそ本会活動はスムーズに回転していると思います。皆様に深甚なる謝意を表します。

御礼・お願い・ご報告

1. 本会報は、医療法人陽心会 高良 健理事長様・首里城公園管理センター様はじめ、多くの関係皆様のご協力を得て発行しております。関係皆様に、改めて、厚く御礼申し上げます。
2. 本会に50万円の高額ご寄付を賜りました医療法人陽心会高良 健理事長様に厚く御礼申し上げます。
3. 本会報に玉稿をお寄せいただきました那覇市公園管理課長 前原信博様、認定こども園美ら夢こども園長 崎山泰弘様、ご寄稿有り難うございました。
4. コロナ禍が収まり、ほぼ日常生活が戻りましたら、「県蝶」制定記念式典や本会創立20周年記念式典等を開催する予定です。詳細が決まり次第、その都度、皆様方にご連絡させていただきます。 了